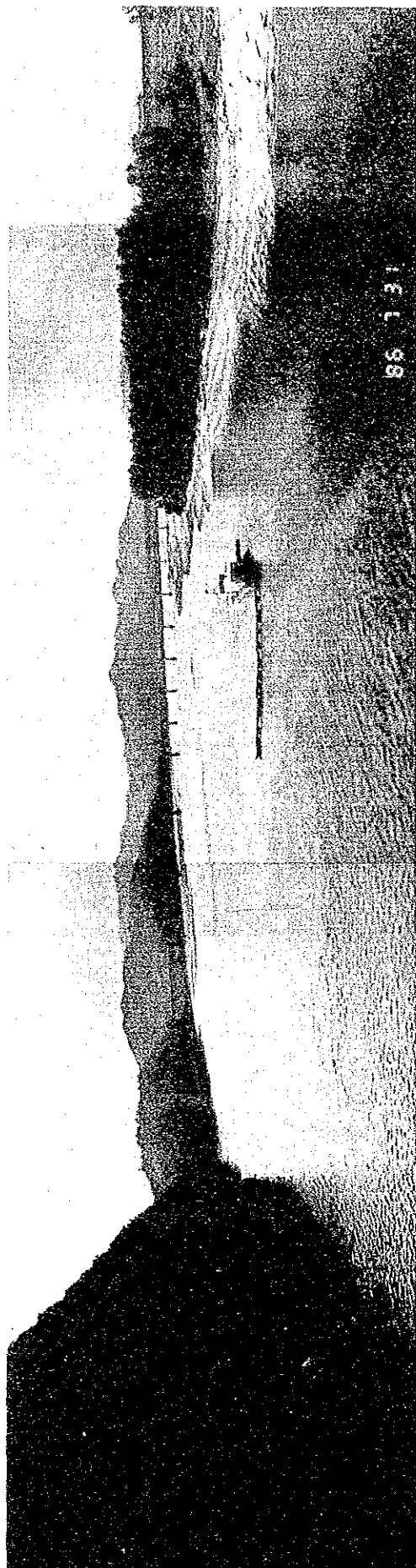


# 調査団写真集



洛東江風景

右岸



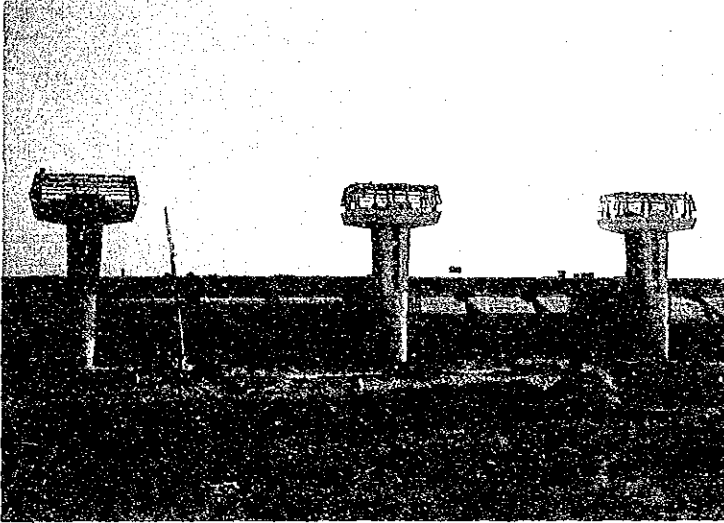
左岸

中流部の流量観測基準点ともなっている高靈橋より上流を望む。

中流域の代表的な景観である。右岸は、台地を刻み堆積岩の崖となつている個所が多く、左岸は高水敷を広く農地として利用している。河川は大きく蛇行し、湾曲部には、花崗岩の土砂を堆積してゆく。悠々とした大河である。



## 洛東江風景（河口部）

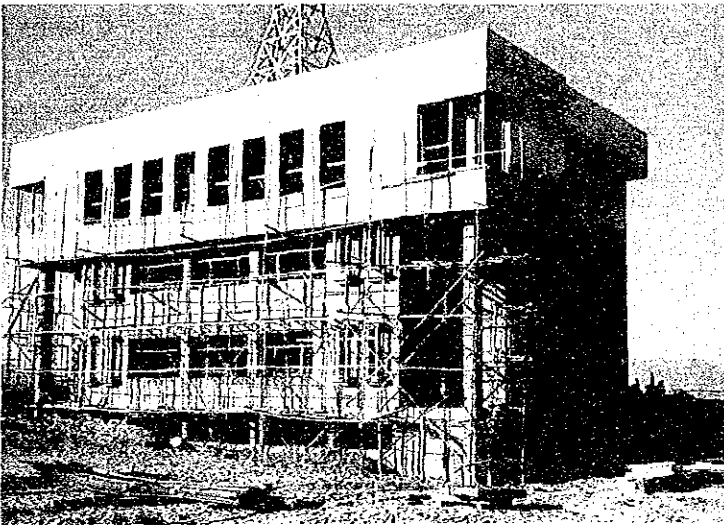


写真上 現在建設中の河口堰

（'87 12 完成予定）

河口堰は塩水塑上の防止と 5,000 万  $m^3$  の貯水容量を持つ。

中州をはさんで右岸側には 1,890 m の固定堰と左岸側には写真の可動堰（幅 4.75 m × 高さ 8 m 10 連ラジアルゲート）を建設する。



写真中 建設中の洛東江洪水統制所

（'87 春に事務所発足予定）

現在、中州に建設中。

組織体制は、漢江 FCO と同じく調査課、管理課、電気通信課から成る予定。

また隣接して ISWACO の河口堰管理事務所も建設される。



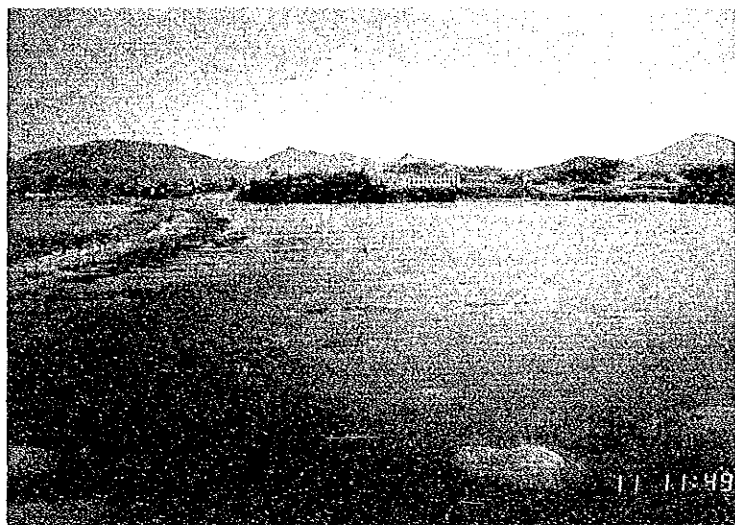
写真下 河口付近の河道

川幅はゆうに 2 km を越える。

釜山市の西約 6 km の地点で南海にそそぐ。



## 洛東江風景（中流部）



写真上 <sup>キンドン</sup> 津洞上流

洛東江の重要な基準点である津洞の上流。

多くの砂れんが低水時には顔を出す。低水路幅は広く、河床変動も大きい。写真正面中央は ISWACO の取水施設。



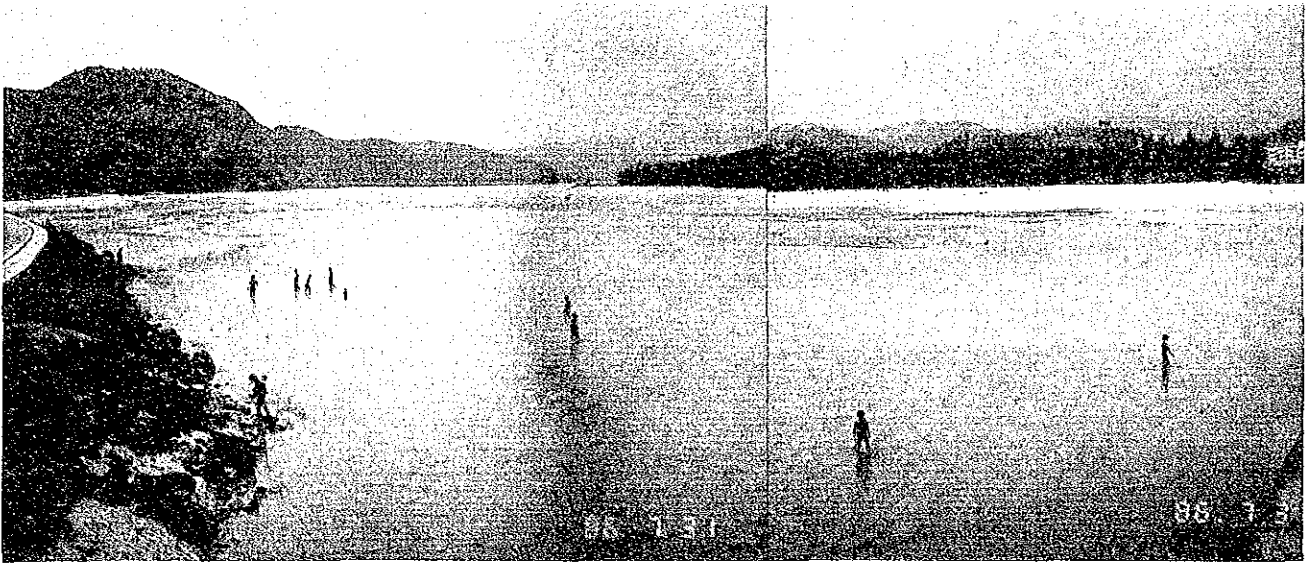
写真左 水質自動監視装置の設置

この崖の上に津洞の水位観測所が置かれている。現在水質自動監視装置の建設を行っており、ポンプアップによる採水を行う。





洛東江風景（支川）



写真上 洛東江下流に合流する右支川黄江陝川地点。  
ファンガンハブキョン

上流に陝川ダムをかかえる。河床は風化した花崗岩砂であり、夏場は河岸キャンプ、海水浴を楽しむ家族づれで賑う。韓国の夏の代表的なレクリエーションである。

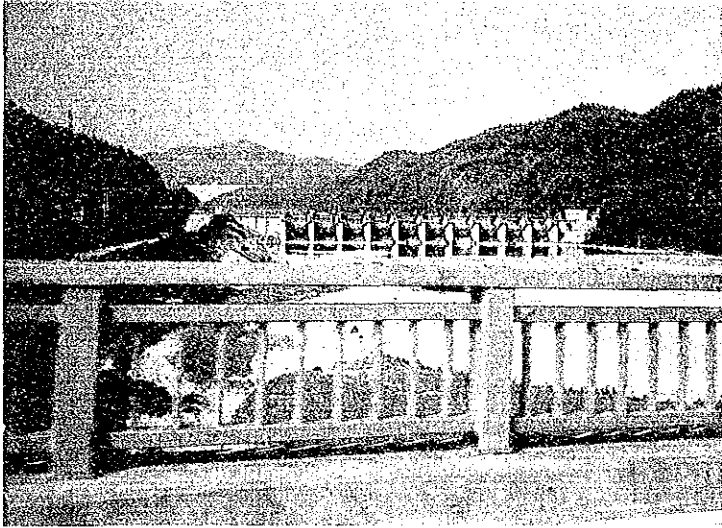


写真左 中流部の工業都市亀尾市  
中流部の基準点仁同（亀尾大橋）  
から下流右岸側を望む。

堤防の奥に見えるのが、精密機械、先端産業の中心となっている亀尾市。中流部に大きな需要を持つ工業都市をかかえているのも洛東江の特徴である。



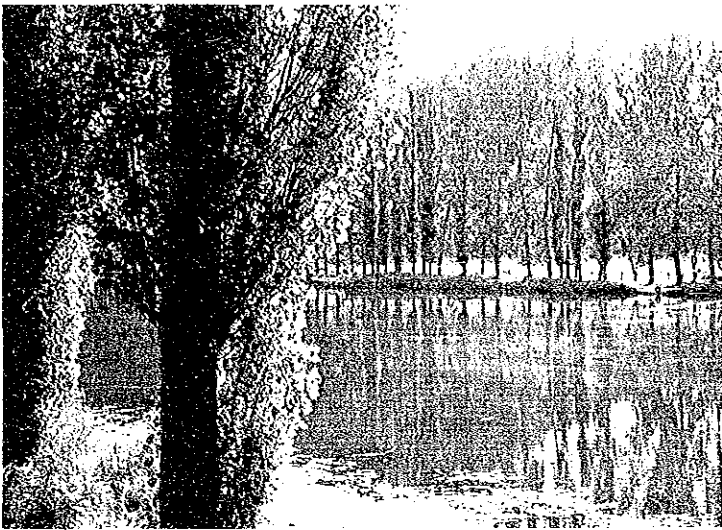
## 洛東江風景（上流）



写真上 <sup>アンジョ</sup>安東ダムと逆調節池

洛東江の最上流安東ダム（写真左奥）を安東基準点から望む。

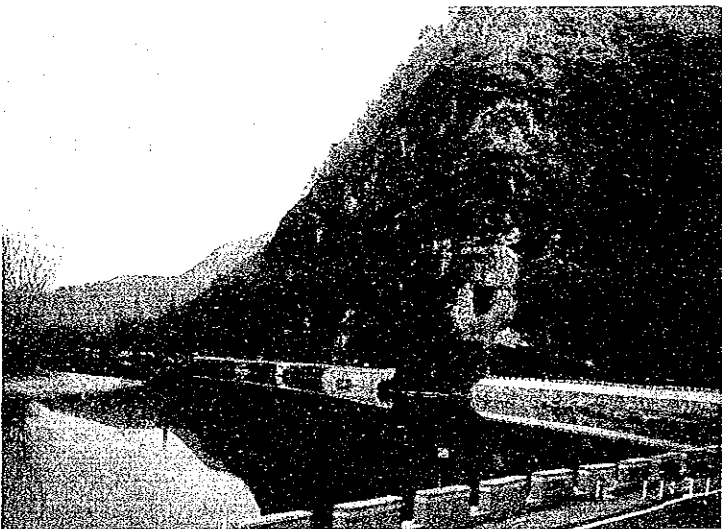
発電用の逆調節池を持ち、必要に応じ下流への放流を行う。



写真中 洛東江上流部のリゾート、レクリエーション地

魚釣や、ボート遊び施設があり、憩いの場所となる。

豊かな田園風景を残す。



写真下 上流部の景勝地

洛東江上流の景勝地。

洛東江は河口から上流までさまざまな姿を見せる。



## 利水施設



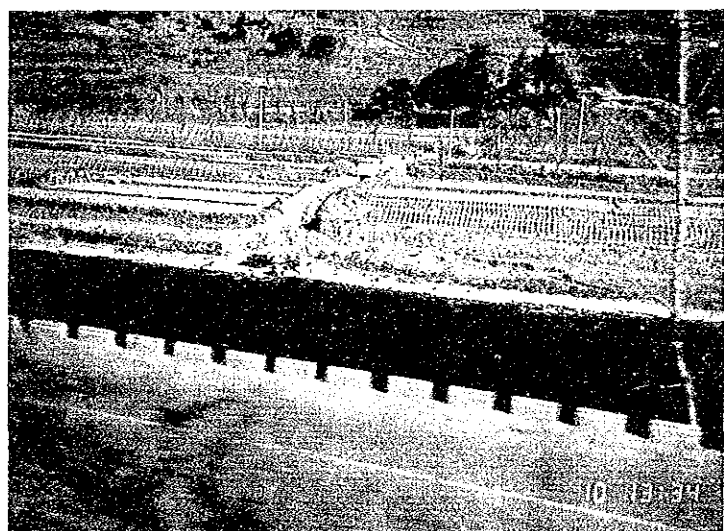
写真上 河道内の取水施設

大邱市近くで見られた取水塔。河川水及び伏流水の取水を行う。



写真中 地下水取水ポンプ

河道近傍及びため池の直下流に多く設置されており、地下水、伏流水の取水を行っている。

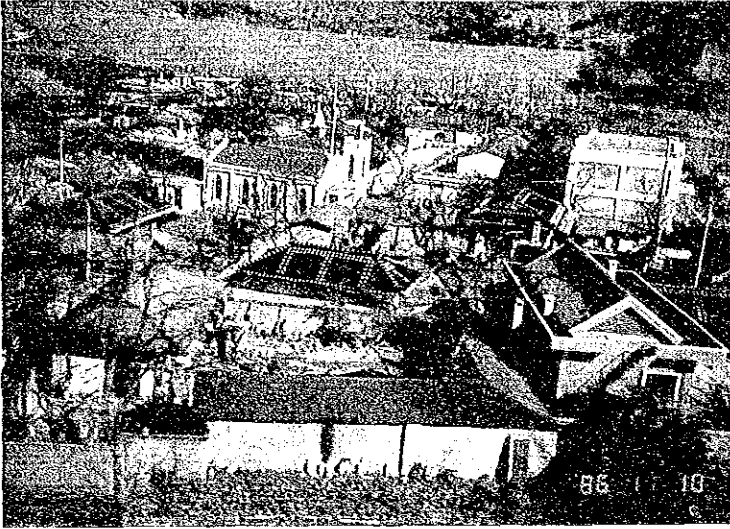


写真下 直接取水

支川等に多く見られ、個々人が河川からの直接取水によりかんがいを行う。

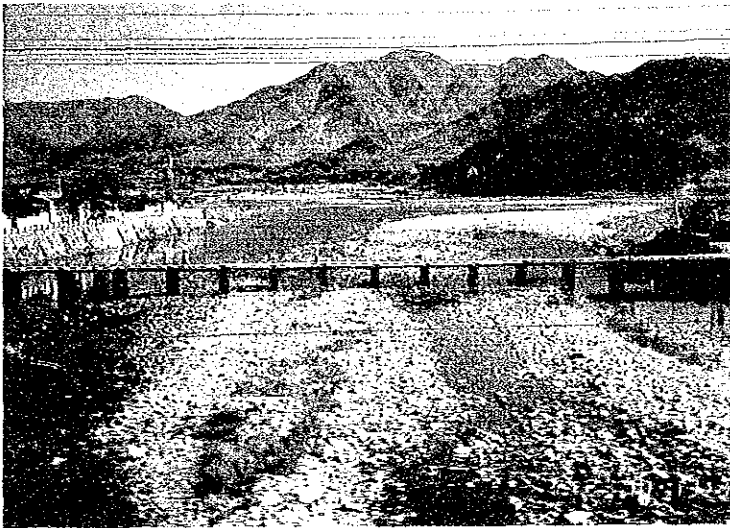


## 洛東江流域スナップ



写真上 農村風景

典型的な農村の風景  
石造りの家屋が多く、近年二階建て以上の家屋も見られる。



写真中 支川風景

あまり水は流れておらず、河床材も流域の状況に応じて様々である。  
写真の中央はもぐり橋。



写真下 夕暮の洛東江支川

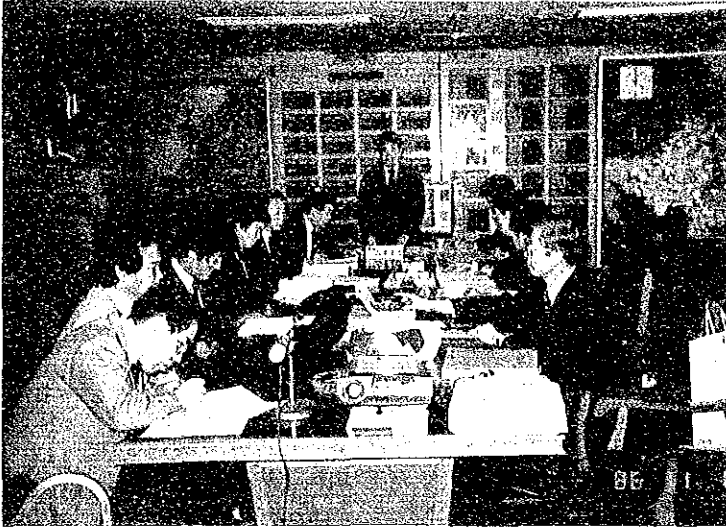
クンホガン  
中流部の琴湖江。

低水護岸もなく自然河岸が残る。





低水管理システム関係者 (1)



写真上 第4次洛東江調査団打ち合わせ

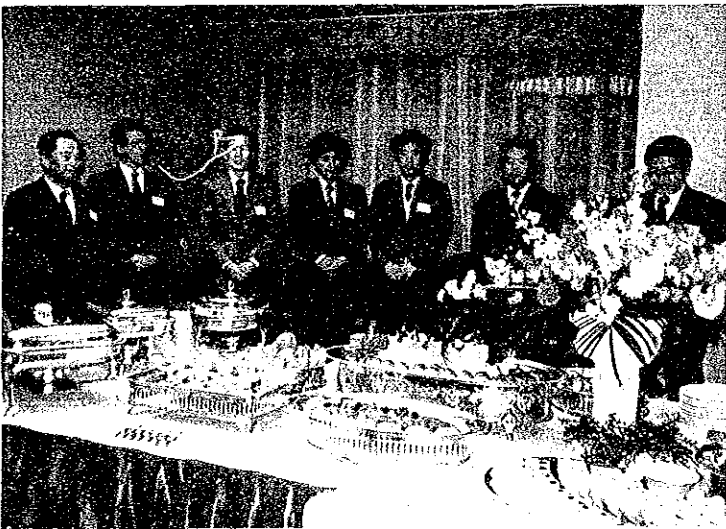
本会議を前に作業レベルで進捗状況の確認作業。

写真左手前が日本国長期派遣専門家の高橋定雄氏。



写真中 感謝盾の授与

これまでの日本国洛東江調査団の技術協力に対し、大韓土木学会 崔榮博会長により山岸団長へ感謝盾が送られる。



写真左 大韓土木学会の中心メンバー

写真右より左へ

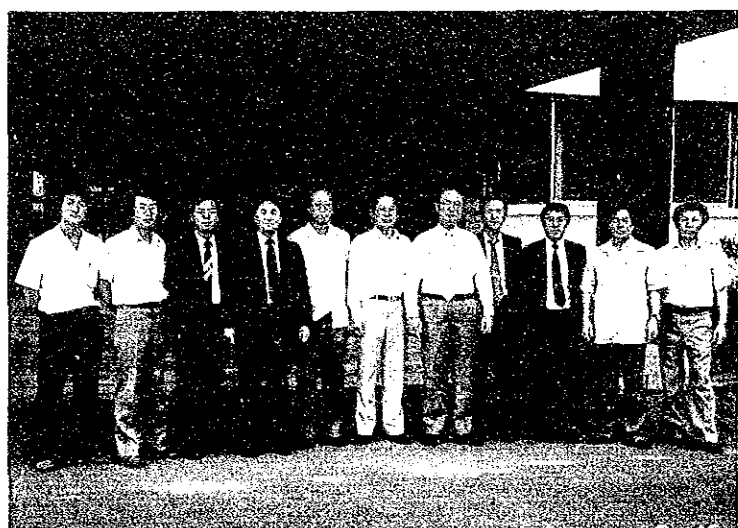
崔 会長（総括）、李 舜鐸教授と徐 炳夏韓国建設技術研究院首席研究員（低水流出）、(株)韓国ソフトウェアサービス朴 泰國常務と李志相代表理事（電算プログラム）、尹 龍男韓国建設技術研究院長（高水管理）、南 宣祐教授（水文観測）



低水管理システム関係者 (2)



写真上 水資源局長への表敬  
調査団の大韓民国建設部への表敬。  
写真左正面が李 載明（新）水資源局長。



写真中 漢江洪水統制所関係者  
漢江F C Oの前での関係者  
写真右より左へ  
慎 述範 (前) 電気通信課長  
朴 永一 調査課長  
高橋 定雄 長期専門家  
正林 啓志 調査団員  
小坂 忠 国土開発センター理事長  
沈 燦燮 土地開発公社理事  
呉 達泳 漢江F C O所長  
山岸 俊之 団長(第1次～第4次)  
早川 信光 調査団員  
趙 泰熙 管理課長  
文 貞植 (前) 調査係長



写真下 電気通信関係者  
テレメーターシステムについて、  
ISWACO 本社において正林団員との技術打合せ。  
写真左中央 ISWACO 機電部池 正勲 通信課長、その右朴 鏗福通信係長。





JICA